

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 94 『糶糶斂散』 ちょうてき れんさん

< 意味 > 中国春秋時代に始まった物価対策。政府が豊作の年に米を買い上げて保管しておき、凶作の年に安く売り出すこと。

斉の宰相の管仲に始まった経済政策。

出典：「文献通考」<sup>ぶんげんつうこう</sup> 市糶考<sup>してきこう</sup>

語釈：「糶」は穀物を売る意。「糶」は穀物を買う意。「斂」は納め入れる。「散」は出す、くばるの意。

一言：難字シリーズ その1

「糶」は画数25、訓読みは「うりよね」「うる」「せり」です。「糶」は画数22、訓読みは「かいよね」「いりよね」「かう」です。皆さん、ワードで「うりよね」「かいよね」と入力してみてください。ちゃんと変換されますよ。

政府は物価対策で長年腐心していますが、斉は1500年以上前の国、物価政策は昔も今も重要かつ難しい問題なのですね。

参考文献：三省堂・新明解「四字熟語辞典」